

瀬戸内海の天然記念物
**生きた化石カブトガニと
明日の里海を語る！**
～なぜ大切なのか～

海の
博物誌
関連
イベント



2億年以上前からその姿をほとんど変えずに生きている『生きた化石 カブトガニ』。瀬戸内海では、ここ数十年の間に激減し、現在では局地的にしか見ることができなくなった生き物です。今回はカブトガニの生態や広島湾の中央に浮かぶ江田島（江田島湾）に生息するカブトガニを通じて明日の里海を語ります。

2015年 **10月9日(金)**
18時～19時30分

広島大学東広島キャンパス内
マーメイドカフェ「ラ・プラス」

申込不要・入場無料

※お茶代は各自のご負担となります。



話し手：
西原 直久

江田島市教育委員会学校教育課
大柿自然環境体験学習交流館
（さとうみ科学館）館長